

## 土砂災害警戒区域等設定支援システム（地滑り編） 新バージョンリリースのお知らせ

このたび、土砂災害警戒区域等設定支援システム（地滑り編）の新バージョンをリリースすることになりました。新バージョンは、土石流編と同じ GIS エンジンである Geobase を採用しております（Geobase をお持ちでない方は別途購入費用約 19 万円が必要となります）。

新バージョンは ArcGIS 版での実績をもとにサポートサイトのご要望等を取り入れたシステムとなっています。

新バージョンのリリース予定： 2018 年 7 月末日

### <Geobase 版に関する注意点>

#### ■ Geobase のライセンスについて

- ・土砂災害警戒区域等設定支援システム（地滑り編）Geobase 版を起動するためにはシステムのライセンスと Geobase のライセンスが必要です。Geobase のバージョンは土石流編と合わせており、共通で使うことができます。

#### ■ .NET Framework 3.5 のインストールについて

- ・Geobase 版システムは .NET Framework 3.5 の環境を使用します。セットアップ時にボタンを押下することによって自動的にインストールされます。

#### ■ 砂防基盤図の変換について

- ・Geobase 版システムを利用する場合、砂防基盤図を Geobase のフォーマットに変換する必要があります。土石流編と同様に DM 変換、TIN 変換、オルソ変換に別れており、それぞれに新しい変換ツールがあります。各変換ツールは土石流編と共通になっていますが、警戒区域等設定支援システム（土石流編）バージョン 5.0 以前のセットアップに付属している変換ツールで作成された地図は使えませんので、この新しい変換ツールで作成し直して下さい。

#### ■ ArcGIS 版地滑りシステムデータの移行ツールについて

- ・Geobase 版システムには ArcGIS 版地滑りシステムの設定の一部を Geobase 版システムに移行するための支援ツールが添付されています。なお、平成 22 年度以前の SIS 版地滑りシステムで生成されたデータは対象外です。

#### ■ 管理型調書作成ツールへの対応について

- ・本バージョンの Geobase 版システムは、土石流や急傾斜地の管理型調書作成ツール 5.4.0 バージョンでは動作しなく、4.1.1 以上のバージョンに対応していますので、これをご使用ください。